

【平成 28 年 2 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

静岡県商工会連合会

静岡県商工会連合会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 28 年 2 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

記

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 28 年 2 月 29 日
- (2) 調査対象 県下 38 商工会（うち 38 商工会より回答）【回収率 100%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【2 月期の産業全体の業況 DI は好転したが小売業のみ悪化】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-23.5（前月-31.3、前年同月-22.8）で、前月と比べ 7.8pt 好転した。10 業種中 8 業種で好転を示した。製造業では、原材料の価格が下がり収益改善が進んでいる事、建設業では、新築、リフォームの受注が少しずつ出始めている事、サービス業では、宿泊関連の業況が好転であった事が好転の一因と考えられている。

【製造業】

業況は-9.7（前月-15.4、前年同月-4.4）と前月と比べ 5.7pt 好転した。食料品製造業では、食料品加工の原材料である鮮魚の水揚げが多く、活発であったとの声が聞かれた。機械金属業では、年度末の影響か仕事が多く入っているとの声が聞かれた。

【建設業】

業況は-26.3（前月-39.0、前年同月-21.0）と前月と比べ 12.7pt 好転した。公共工事に関しては地域によりバラつきがあるが、年度末で多少良くなっているとの声があった。作業員の人員確保が依然として続いているとの声が複数あった。

【小売業】

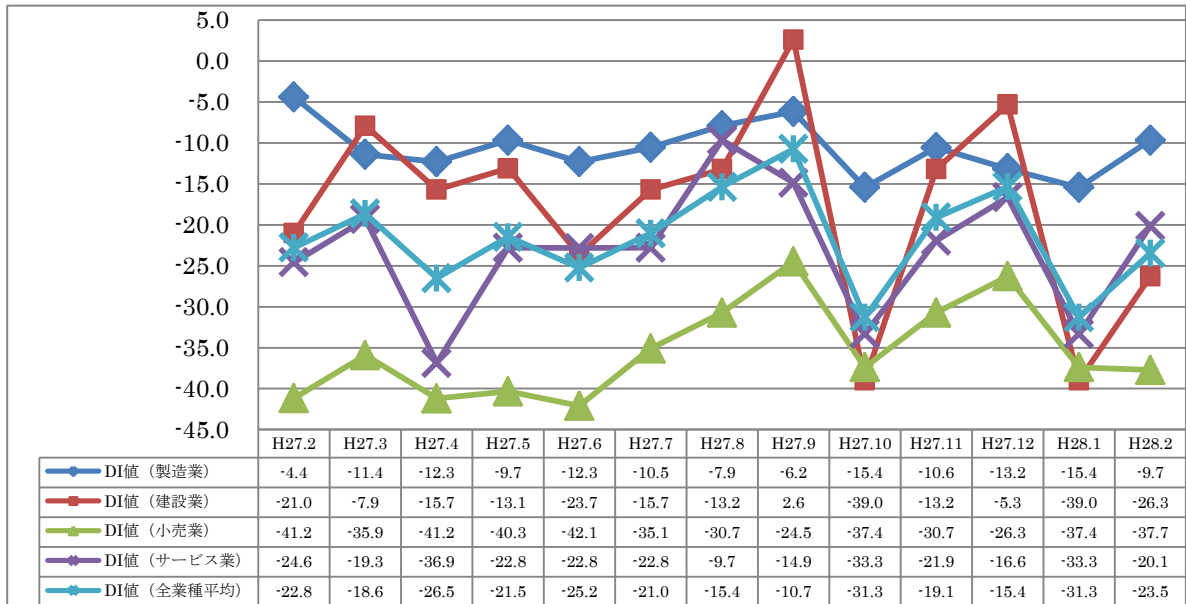
業況は-37.7（前月-37.4、前年同月-41.2）と前月と比べ 0.3pt 悪化した。食料品については、地域住民の消費の減少が著しく、日曜日の大型店でのまとめ買いが顕著に表れているとの声があった。衣料品については、セールの時期が終盤となり商品を春物に入れ替えをしている為、店舗内が騒然としており売上に結びつけるのは難しいとの声があった。

【サービス業】

業況は-20.1（前月-33.3、前年同月-24.6）と前月と比べ 13.2pt 好転した。旅館業では、地域によりバラつきがあるが、春節により台湾や中国からの観光客が増加しているとの声があった。理美容業では、売上に大きな変化はないが高齢の利用者が多いとの声があった。

3 本調査に関するお問合せ 静岡県商工会連合会経営管理課 ☎054-255-8080〔担当：池谷、吉本〕

＜平成 28 年 2 月期 業種別業況 DI 推移表＞



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属製造業)

- ・食料品製造において、コンビニやスーパーで御菓子を購入できる様になり、売上への影響は大きい。しかし、イベント菓子としているいちご大福を販売し始め、好評を得ている。(中部)
- ・若い世代の人手不足の為、24時間稼働が難しく、中国人実習生が必要である。(中東遠)
- ・製材関係の会員事業所で、特に売上が大きく変わる事はないが、来年の消費税増税に対する需要が少し増えた。(西遠)
- ・機械金属関係の会員事業所で、4月以降の仕事もあり、見通しもある。(西遠)

【建設業】

- ・年度末の公共工事で多少良いが、民間及び今後の公共工事は減少傾向にある。(伊豆)
- ・この時期の建設業は、年度末で忙しい事業所が多く、本年も例外なく忙しい事業所は多いが、採算をとるのは厳しくなっている。(中部)
- ・住宅関連は、非常に好調である。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・河津桜まつりの影響もあり、泣けるグルメの一つである「あんバタわさこ」の出荷個数がまつり期間のみで約8,000個と好調である。(伊豆)
- ・冬物の売れ残りが例年以上にあり、在庫処分に苦慮している。(中部)
- ・衣料品は、学生衣料関連が少しずつ動きがある。(中東遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・旅館は、今春、学生の合宿と河津桜まつりで2月10日以降持ち直した感がある。(伊豆)
- ・洗濯業は、平均気温が温かい為、人の動きもあり売上が増加した。(中部)
- ・理美容については、前年に比べおおよそ横ばい。既存客の客層が高齢化傾向にあり、若い客層は新規店に流れている。(中東遠)

小規模企業景気動向調査(平成 28 年 2 月期)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-15.8	-24.4	好転
売上	-10.5	-22.0	増加
仕入単価	26.3	14.7	上昇
採算	-15.8	-24.4	好転
資金繰り	-13.2	-21.9	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-13.2	-17.0	好転
売上	-15.8	-12.2	減少
仕入単価	0.0	0.0	不変
採算	-7.9	-17.1	好転
資金繰り	-5.3	-14.6	好転

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	0.0	-4.9	好転
売上	0.0	-0.1	増加
仕入単価	-5.3	4.9	低下
採算	-5.3	-7.3	好転
資金繰り	-7.9	-14.7	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-26.3	-39.0	好転
売上	-13.1	-29.2	増加
仕入単価	10.5	7.4	上昇
採算	-21.0	-34.2	好転
資金繰り	-23.7	-29.3	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-39.5	-41.5	好転
売上	-34.2	-41.5	増加
仕入単価	10.5	-2.5	上昇
採算	-26.3	-34.2	好転
資金繰り	-26.3	-34.1	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-39.5	-39.0	悪化
売上	-28.9	-36.6	増加
仕入単価	26.3	12.2	上昇
採算	-34.2	-36.5	好転
資金繰り	-28.9	-34.1	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-34.2	-31.7	悪化
売上	-26.3	-26.9	増加
仕入単価	15.8	-4.9	上昇
採算	-23.7	-26.8	好転
資金繰り	-21.1	-26.8	好転

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-13.1	-31.7	好転
売上	-13.2	-22.0	増加
仕入単価	15.8	2.5	上昇
採算	-5.3	-19.6	好転
資金繰り	-23.7	-21.9	悪化

9.洗濯業

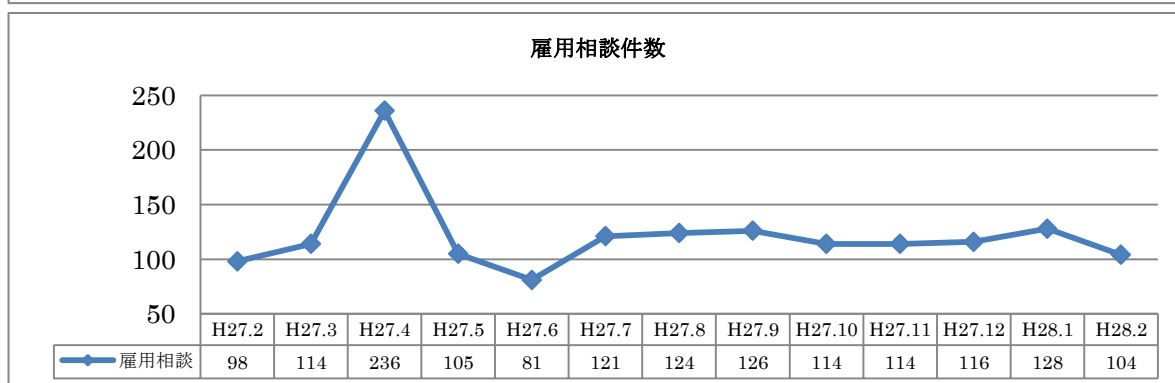
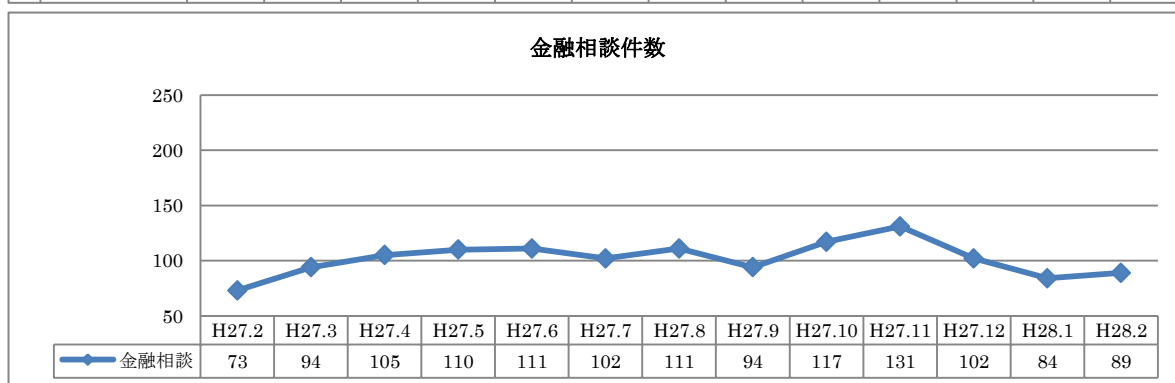
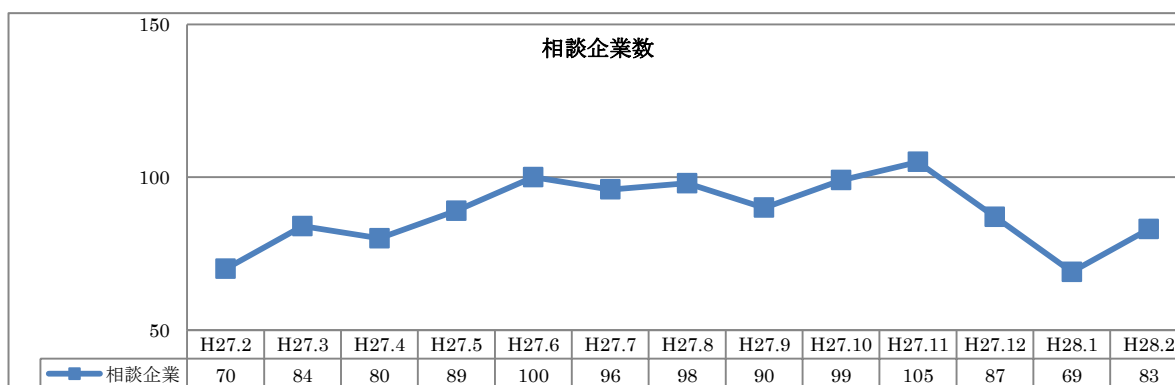
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-31.5	-36.5	好転
売上	-18.4	-34.1	増加
仕入単価	2.6	2.4	上昇
採算	-7.9	-26.9	好転
資金繰り	-10.5	-24.4	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-15.8	-31.8	好転
売上	-13.1	-34.1	増加
仕入単価	2.7	2.4	上昇
採算	-10.5	-29.3	好転
資金繰り	-10.5	-22.0	好転

金融・雇用相談実績月次報告(平成 28 年 2 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	83	69	14
【金融相談件数】	89	84	5
新規融資（借換えを除く）	54	43	11
既存債務の借換え	24	27	-3
借入れ条件変更	4	1	3
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	7	13	-6
【雇用相談件数】	104	128	-24



【金融相談】

金融相談件数は、89件と前月(84件)に比べ5件増加した。相談内容については、既存債務の借換え、その他が減少し、新規融資(借換えを除く)、借入れ条件変更が増加した。

<経営指導員コメント>

- ・今月は融資の相談が2件あったが申し込みには至っていない。年々金融相談が減少してきている。(富士駿東)
- ・設備投資の相談について、低金利である為融資を検討し始めている。(中部)
- ・今後の消費税率の再引き上げ等、事業者を取り巻く経営環境は、依然として厳しい。日本政策金融公庫の融資希望が出始めている。(中東遠)
- ・借入は、新規の需要ではなく借換えがほとんどであった。(中東遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、104件と前月(128件)に比べ24件減少した。労災保険加入についての手続き、離職に関する相談、雇用保険の取得と喪失の相談があった。建設業で人手不足を感じている地域が複数あった。

<経営指導員コメント>

- ・今月の雇用の相談は離職に関する相談が3件、新規採用の相談は1件だった。(富士駿東)
- ・介護サービスは、求人を出しても、人材がなかなか集まらない状況である。(中東遠)
- ・製造業、建設業において、人材不足の為、ハローワークへの申請など求人についての相談が目立つ。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・第26回河津桜まつりの2月末日現在の入込みは、桜の開花も早かった事もあり、前年同期比57%増の495,666人と好調であった。本年は、メディア取材が非常に多く、その点が好調の要因としてもあげられている。(伊豆)
- ・廃業(高齢化)による退会が増加。(中部)
- ・持続化補助金の相談が多い。今年度、事業所の確定申告を見ると、売上10%減が多く感じる。(中東遠)
- ・牡蠣小屋が好評。2月終了時点で15,500人を超えた。前年比1,300人増となっている。(西遠)